

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●桜花賞でアーモンドアイがG I 初制覇を果たす

4月8日(日)に行われた桜花賞(G I)ではアーモンドアイ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。勝ちタイムの1分33秒1は、2010年にアパパネがマークした1分33秒3を上回る桜花賞レコード。また同馬の父ロードカナロアは現3歳が初年度産駒となる新種牡馬で、産駒のJRA・G I 初勝利となりました。

●武豊騎手がJRA通算2万1000回騎乗を達成

4月8日(日)に行われた桜花賞(G I)でマウレアに騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上初となるJRA通算2万1000回騎乗を達成しました。

●丸山元気騎手と西浦勝一調教師がJRA通算400勝を同時達成

4月8日(日)の1回福島2日・第9レースではスパイチャクラが1着となり、同馬に騎乗した丸山元気騎手(美浦・根本康広厩舎)は、現役40人目となるJRA通算400勝(5809戦目)を達成しました。また同馬を管理する西浦勝一調教師(栗東)も、現役43人目となるJRA通算400勝(4657戦目)を達成しました。

●高柳大輔調教師がJRA初勝利をあげる

4月8日(日)の2回阪神6日・第3レースではアドバンスマルスが1着となり、同馬を管理する高柳大輔調教師(栗東)は、今年3月の開業から数えて24戦目でJRA初勝利をあげました。

●シャイニングレイ、ソルヴェイグの競走馬登録抹消

2014年ホープフルS(G II)などの勝ち馬シャイニングレイ(牡6歳/栗東・高野友和厩舎)は、4月7日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は9戦4勝で、今後は乗馬となる予定です。2016年報知杯フィリーズレビュー(G II)などの勝ち馬ソルヴェイグ(牝5歳/栗東・鮫島一步厩舎)は、4月11日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は17戦4勝で、今後は北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マリーンC(船橋)でアンジュデジュールが3度目の重賞制覇

マリーンC(Jpn III、4月11日、船橋、1600m)は、逃げた2番人気のアンジュデジュール(横山典弘騎手、牝4歳、父ディーブインパクト)が、内から迫る単勝1.6倍で断然人気のクイーンマンボを $\frac{3}{4}$ 馬身差で振り切りました。ヤマニンアンプリメが更にクビ差遅れの3着に入り、3番人気のミッシングリンクは4着に敗れています。

●兵庫のピークトラムが読売マイラーズC(京都)に登録

読売マイラーズC(G II、4月22日、京都、安田記念の出走資格獲得は2着以内)に、ピークトラム(兵庫)が登録しました。JRA在籍時の2年前に芝のG IIIで2着がありますが、現状でG IIでは厳しいものと思われそうです。

●クラウンCはJRA出身のスプリングマン【各地の主要3歳重賞】

クラウンC(4月4日、川崎、1600m)は、JRAで1勝後に浦和に移籍した7番人気のスプリングマン(牡、父ローズキングダム)が、後続を振り切って一杯に逃げ切りました。

●ニシケンモノノフが登場、4月18日の東京スプリント(大井)

東京スプリント(Jpn III、4月18日、大井、1200m)は、58%ならニシケンモノノフが中心、以下JRA勢ではネロ、ウインオスカー、グレイスフルリープ、スノードラゴンの順に有力視されますが、ブルドッグボス(浦和)、ラブバレット(岩手)、キタサンミカヅキ(船橋)の地方馬にも付け入る隙はありそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●豪ザ・チャンピオンシップスの初日が開催

2週続けての計2日間で8つのG Iを含む16の重賞をまとめて行う「ザ・チャンピオンシップス」の初日が豪ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で4月7日に行われました。そのメインレースとなるG I ドンカスターマイル(ハンデ、芝1600m、総賞金300万豪ドル=約2億6400万円/1豪ドル88円で換算)を制したのはハッピークラッパー(駒7歳、父テオフィロ)。一昨年、昨年の2着馬が3度目の挑戦でついに栄冠を手に入れました。B. シン騎手、P. ウェブスター調教師とともにこのレース初制覇です。なお、このレースには元日本調教馬のトーセンスターダムも出走していましたが、スタートで出遅れたこともあり15着に終わっています。

●G I サンタアニタダービー〜ジャスティファイが快勝

米国西海岸の3歳代表を決めるG I サンタアニタダービー(ダート9 $\frac{1}{2}$)が4月7日にカリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われ、単勝1.9倍の1番人気に推されたジャスティファイ(牡3歳、父スキャットダディ)がG I フロントランナーSとG I デルマー・フューチャーティの勝ち馬ボルトドーロに3馬身差をつけて逃げ切り勝ち。今年2月のデビューから3連勝でG I 初制覇を果たしました。勝利騎手はM. スミス、同調教師はB. パファートです。